山協ニュース

岩手県山岳協会
第１９１号
平成 27 年 8 月 25 日発行
long-distance.jp/sangaku/

インターハイ盛岡第一「女子団体」で県勢初の日本一に輝く

「男子団体」盛岡工業高校　大混戦の中僅差の 12 位

第 59 回全国高等学校登山大会は、8 月 7 日から 10 日までの 4 日間、滋賀県高島トレイル乗鞍岳を中心に開催。本県女子代表の盛岡一高（選手　吉田みどり、新里亜子、山村あゆ、佐々木薫、監督　佐藤幸久）は、100 点満点の 98.8 点で堂々の日本一に輝いた。2009 年の近畿インターハイの岩手高校男子縦走種目での優勝以来の快挙。特に女子での日本一は、点数制になって初めて。

盛岡一高は、昨年僅差の 5 位と表彰台を逃していただけに今年は、優勝を目標に、吉田キャプテンを中心にトレーニングを重ね、念願を達成。猛暑の中、途中棄権のチームが出る中、4 日間最後までペースを崩すことなく登り切った。特に、審査 10 項目中 6 項目で満点。2 位の長田高校（兵庫）を 0.4 点差で抑えた。

17 年ぶりのインターハイ出場の男子団体の盛岡工業（選手　小松平啓太、前川琴輝、熊谷清志、高橋大知、監督小野寺　訓）は、96,0 点で 12 位。96 点台に 8 校がひしめく大混戦のなかでの悔しい順位。優勝校に 1.9 点差の僅差。今年の悔しさをばねに来年こそは入賞を目指してほしい。登山競技は、歩行、炊事、登山技術、気象、自然観察、記録、救急、10 項目 100 点満点の減点方式で競う。

両校とも、昨年の悔しさをばねにトレーニング、知識等やれることはすべてやり尽くしての出場。盛岡一高には、連覇を、盛岡工業高には初制覇を目指して頑張って欲しい。

岩手を代表して堂々と戦い立派な成績を収め、山岳岩手を全国にアピールしてくれた盛岡一高女子チームと盛岡工業高男子チームの選手、監督に大きな拍手を送りたいと思います。

（詳細　平成 27 年 8 月 12 日付岩手日報）

高 橋 時 夫 協 会 会 長

（公社）日本山岳協会副会長に就任

平成 27 年 5 月 31 日（日）開催の（公社）日本山岳協会総会及び理事会において、会長・副会長選考委員会での選考結果を受け、当協会会長の高橋時夫氏が日山協の副会長に選任された。

会長には、八木原圀明氏（群馬岳連）、副会長には尾形好雄専務理事が兼務（総務）、国松嘉明氏（滋賀岳連・組織・法務）、高橋時夫氏（岩手山協・競技）、亀山健太郎氏（都岳連・登山）が選出された。岩手県からの副会長就任は、初めてで、東北では、20 年前に秋田岳連の鈴木　清氏が就任して以来。高橋会長は、就任あたって「今回の副会長就任は、個人というより 70 有余年培ってきた県山協の活動への評価の一つであると認識しており、地方岳連（協会）あっての日山協であること。時代の変革に対応できる日山協の構築のため汗を流したい。」と述べています。活躍を期待したい。

東北六県岳連（協会）連絡協議会報告

平成 27 年度東北六県山岳連盟（協会）連絡協議会が、5 月 16 日（土）と 17 日（日）の二日間、山形県南陽市で開催され、各岳連（協会）会長、理事長等 22 名が出席。県山協からは高橋会長、小山理事長、遠藤事務局長、植田登山普及部長の 4 名が出席。協議内容及び結果は、次の通り。

(1)　東北 6 県共通諸行事について
- 第 54 回全日本登山体育大会の開催　　栗駒山 10 月 9 日（金）～11 日（日）
- 東北ブロック会議兼審判員研修会　担当　青森県 11 月 28 日・29 日

(2) 希望郷いわて国体の準備状況についての報告

(3) 第 42 回東北総合体育大会山岳競技を盛岡で 7 月 24 日(金)～26 日(日)
- 7 月 25 日（土）ボルダリング競技・7 月 26 日（日）リード競技

(4) 岳連（協会）運営、自然保護、指導、遭難、海外、クライミングの状況について意見交換

(5) （公社） 日本山岳協会平成 27 年度第 1 回理事会報告

・平成 27 年 5 月 16 日（土）・東京都・神崎会長挨拶要旨　ネパール大地震への見舞い。登山隊では 52 名の死亡、57 名の負傷、107 名の行方不明者の発生。30 ケ国の登山隊が被災した。山岳六団体で募金活動を開始。協力をお願いしたい。

・日山協の役割は、年々高まってきている。平成 27 年度は、新しい体制で取組んで欲しい。プロジェクトチームの活動が停滞している。各岳連（協会）、委員会の活性化も急務。公益社団法人として使命を果たしていかなければならない。

・議案第 1 号平成 26 年度事業報告（案）の承認について

議案第 2 号　平成 26 年度収支決算報告（案）の承認について

議案第 3 号　定款の一部変更（案）の承認については、業務運営の強化のため、業務執行理事の副会長を３名以内から 4 名以内に変更する内容。理由として、西日本、東京都山岳連盟、東日本からの 3 副会長に加え、会長を強く支える筆頭副会長として現専務理事を兼務で副会長候補者として推薦されたため。

議案第 4 号　理事及び監事候補者推薦の承認については、理事候補 25 名と監事候補 3 名を推薦。いずれの議案も原案の通り承認可決された。

議案第 5 号正会員の承認について

議案第 6 号参与推薦の承認については原案の通り決定。

議案第 8 号クライミング・ルートセッター規程の一部改正（案）の承認については、一部加筆訂正を条件に承認。

議案第 9 号日本山岳協会山岳共済会規程の一部改定（案）の承認について

議案第 10 号日本山岳協会山岳共済会運営委員会規程（案）の承認について

議案第 9 号及び議案第 10 号は、関連議案のため一括で諮られたが、各種議論の結果、議案第 9 号と議案第 10 号は、取り下げられ、次回理事会で審議することとした。

議案第 11 号スポーツクライミング日本代表チームに関わる規程（案）の承認について、公益社団法人日本山岳協会スポーツクライミング日本代表チームに関わる規程、公益社団法人日本山岳協会スポーツクライミング日本代表チームの行動規範、公益社団法人日本山岳協会スポーツクライミング日本代表チームのユニフォーム等運用内規については一部加筆訂正を条件に承認可決された。

・報告第 1 号平成 26 年度山岳共済会事業報告及び収支決算報告

報告第 2 号ネパール大地震救援募金については、いずれも了承された。

報告第 3 号　創立 60 周年記念事業募金の見直しについては、パール大地震救援募金の兼ねあいで、平成 28 年度から募ることを了承。

報告第 4 号　クライミング・ルートセッター規程の内規の変更については、了承。

(6) ネパール大地震救援募金について

(7) 山の日制定に係る、キャンペーンについては、ノボリの共同制作、各県の行事に冠を付けて啓発等を行うなどの案がでた。

(8) 福島県内の原発事故の影響について、放射能汚染は、発生当時の 1/5～1/6 程度に落ちている。阿武隈山系は高いが、その他は特に問題はない。入山者は例年の 30%程である。

(9) スノーモービルの山岳地帯への乗入れ問題、各地で、スノーモービルの山岳地帯への進入が問題視されている。抜本的対策までは至っていない。看板等を立てて入らないよう協力を求めている状況。

(10) 平成 28 年度東北 6 県協議会は、福島県担当を確認。

平成 27 年度（公社）日山協定時総会報告

平成 27 年度（公社）日本山岳協会総会は、平成 27 年 5 月 31 日（日）東京都港区岸記念体育館で開催。神崎会長挨拶、高齢化のなか財政基盤の確立、組織運営の土台づくり等我が国の山岳界の代表として日山協の役割は大きい。と挨拶。

議案第 1 号　平成 26 年度事業報告（案）について、議案第 2 号　平成 26 年度収支決算報告（案）については、承認可決された。

議案第 3 号　定款の一部変更（案）については、会長・副会長推薦委員会の諮問を受け、本会の業務運営及び組織の強化を図るために、業務執行理事の副会長を 3 名以内から 4 名以内と 1 名増員を承認。　可決。

議案第 4 号　役員（理事・監事）の選任については、以下のように承認可決された。八木原圀明、尾形好雄、國松嘉仲、髙橋時夫、亀山健太郎、小野寺斉、西内博、

仙石富英、森下健七郎、京才昭、水島彰治、瀧本健、小宮山稔、相良忠麿、北村憲彦、増山茂、中瀬和徳、小野倫夫、齋藤喜代志牧野治生、亀井正明、伊藤克己、大西一俊、峯本典寛、下田泰義、次いで監事候補者については、内藤順造、岡本忠良、中畠正喜

報告

(1) 報告第１号　平成 27 年度事業計画と収支予算について報告。＊新規事業の「山の日」制定記念事業「ふるさとの山を登ろう」について

(2) 報告第２号　平成 27 年度の事業計画と収支予算を報告

(3) 報告第３号　平成 27 年度正会員、平成 27 年度の新正会員が報告された。

(4) 報告第 4 号　ネパール大地震救援募金の取り組みと募金状況について報告。

(5) 報告第５号　創立 60 周年記念事業募金の実施については、ネパール大地震救援募金の兼ね合いで、1 年遅らせて平成 28 年度から募ることが報告された。

(6) 報告第６号　第 54 回全日本登山体育大会宮城大会（予報）について、第 54 回全日本登山体育大会の実施概要が説明され、多くの方の参加を呼びかけられた。

平成 27 年度岩手県高校総体登山競技会開催
女子　盛岡一高　２年連続優勝
男子　盛岡工業 17 年ぶりの優勝
滋賀インターハイ出場権獲得！

今年で第 67 回(登山競技は、56 回)を数える平成 27 年度岩手県高等学校総合体育大会登山競技は、県高体連登山専門部(部長　盛岡南高校岩澤健二校長・委員長盛岡一高校　佐藤幸久先生)主管で５月 30 日（金）から６月１日（日）奥州市のつぶ沼キャンプ場に大会本部を置き焼石岳銀名水コースで開催された。今年の大会には、男子 16 校、女子 5 高校が出場。大会期間中は天候にも恵まれ、一部残雪の残るなか競技が展開された。

初日は、つぶ沼キャンプ場で開会式、岩澤健二部長の挨拶、高橋時夫県山岳協会長の激励、千葉真英審判長の注意事項等のあと競技に入った。好天のなか、全装備行動で体力審査が行われた。

二日目の５月３１日は、午前６時競技開始。残雪と新緑の中での行動、つぶ沼から焼石山頂往復で体力、チームワーク、自然観察等の審査が、到着後は、装備点検、幕営技術等の審査が行われた。

三日目は、閉会式で成績発表と表彰式が行われた。結果は、次のとおり。

男子団体　１位　盛岡工業高校、２位　盛岡第一高校、３位　岩手高校

女子団体　１位　盛岡第一高校、２位　盛岡南高校、３位　平舘高校

高校総体登山競技は、4 人のチームワークのもと体力、計画書、天気図、幕営技術、観察、読図、歩行技術、救急対応等体力、知力、気力のまさに安全登山そのものを総合的に競う競技です。

優勝した男子・盛岡工業高校と女子・盛岡第一高校は、８月に滋賀県で開催される全国高等学校登山大会に本県代表として出場します。皆さんの応援をお願いします。

平成 27 年度
親子クライミング・ボルダリング教室大人気

年々参加者が増えて、うれしい悲鳴の親子クライミング・ボルダリング教室が開催されました。

今年は 129 名の参加を頂き、7 月 11 日（土）、12 日

（日）、14 日（火）の３日間の日程で開催。

盛岡市内と滝沢市を中心に募集した教室ですが、今年の特徴は、教室の名前の通り親子での参加者が昨年の倍の 34 組もありました。初日の 11 日は、畠山晃副理事長から、無理せず楽しんで欲しいとの説明を聞き、みんな初めてにしては、目標高度まで登りガッツポーズの子や、子どもに負けず敢闘するお父さん、お母さんと親子で楽しんでいました。畠山副理事長は、「この教室を通じて少しでもスポーツクライミングに関心を持ってもらえれば。」と参加者の指導に汗を流していました。運営のお手伝いを頂いた選手強化部スタッフ、岩手高校山岳部、国体強化選手の皆さんご苦労さまでした。

「2015 岩手山ボッカ大将」結果報告

6 月 13 日（土）恒例行事の岩手山八合目避難小屋への荷上げ（ボッカ大将）を加盟各団体の多くの岳人の協力

のもと実施、無事終了しました。当日は、昨年の雨模様と違い登山日和の天気だったと思います。八合目小屋では、夕刻より高橋会長の挨拶、ボッカ大将等の顕賞後、武田副会長の乾杯の音頭で交流会が始まり、時間の許す限りの中で行われ、岳人の交流がより深まったと思っています。

翌14日は朝食後、小屋清掃・トイレ清掃等を手伝っていただき、三々五々解散となりました。有志で転んでいたベンチの修理も行いました。また、13日当日、荷上げ後、都合で下山した岳人もおり、改めてお礼を申し上げます。次回は是非交流会に参加して交流を深めていただきたいと思います。ボッカの結果等は以下のとおり。

男　子

第１位　清水　大輔　57.6kg　高体連
(昨年１位　55.02kg)

第２位　田所　一志　43.1kg　アルペンローズ山岳会
小松　　涼　43.1kg　盛岡ＲＣＣ

女　子

第１位　田邉　真弓　25.8kg　アルペンローズ山岳会
(昨年３位　18.2kg)

第２位　橘　　澄江　18.3kg　矢巾山好会

第３位　佐藤　弘子　15.3kg　巌鷲山岳会
(昨年４位　16.0kg)

今年の荷上げ品の総重量(個人装備含)は1101.48kg (昨年度1062.86kg) で、一人平均20.03kg (昨年20.05Kg) でした。

・加盟団体参加人員（協会役員等は所属団体に含む）
巌鷲山岳会 13名、盛岡ＲＣＣ 9名、矢巾山好会 9名、アルペンローズ山岳会 6名、滝沢市山岳協会 4名、ハイエストカンパニー 4名、北上山岳会 3名、都南山岳会 2名、盛岡山想会 1名、日本山岳会 1名、翌檜山岳会 1名、福岡山好会 1名、高体連 1名
総参加人員 55名（昨年度53名）　男43名　女12名
(昨年度男36名 女17名) の岳人にご協力を頂いた。

男　950.08kg　　平均　22.09kg
(昨年度841.96kg　平均23.39kg)

女　151.40kg　　平均　12.62kg
(昨年度220.90kg　平均12.99kg)

改めて、山岳協会加盟各団体の結束力に感謝しお礼を申し上げます。

岩手山八合目避難小屋情報

・　7月27日に御成清水が枯れましたが、その後水が出始め29日断水状態解消の情報を関係各所に情報提供しました。今のところは順調です。

・　薪作り関係

6月9日（火）薪材の木出しを予定したが雨予報のため改めて６月１８日（木）途中から雨模様の中実施した。

協力加盟団体
巌鷲山岳会６名　登山普及部１名　　計７名

6月20日（土）薪材の運搬と薪作り、21日（日）今年度最後の薪作りを行った。

6/20　協力加盟団体
巌鷲山岳会 7名　滝沢市山岳協会 2名　矢巾山好会 2名　登山普及部 1名　　計12名

6/21　協力加盟団体
巌鷲山岳会 5名　滝沢市山岳協会 2名　登山普及部 2名　　計　9名

・　毛布関係

八合目避難小屋で使用する毛布を平成24年度に準備し、ヘリでの荷上げが出来る様に関係個所にお願いしてきましたが、7月22日（水）4年目にしてヘリで上げることが出来きた。

7月14日（火）　毛布等荷上げ品の荷造り（前日急にメールでお願いした）
協力加盟団体　巌鷲山岳会 7名　盛岡ＲＣＣ 1名
高橋会長　登山普及部 4名　　計13名

7月22日（水）　八合目避難小屋で毛布等をヘリでの荷上品の後片付け等
協力加盟団体　巌鷲山岳会 4名(馬返し1名含む)

盛岡ＲＣＣ １名　矢巾山好会 １名
登山普及部 ２名　 計 ７名

荷上げした毛布の総枚数　寝袋含め 450 枚位、他にトイレットペーパー10 箱、冷梅５箱、小屋切替時使用飲料品各種 15 箱、ボッカＴシャツ１箱等協力頂いた関係機関、各位に感謝申し上げます。

・　薪の荷上げ

秋田県角館高校の生徒と先生が薪を荷上げしてきました。運動公園でクライミングの練習をした帰り、岩手山に登ってきたとのことで、馬返しで薪不足しているとの看板見て、ただ登るより薪を担いで来たとのことでした。有難うございました。

平成 27 年度岩手県山岳協会
第 2 回 評 議 員 会 開 催

今年２回目となる評議員会が、８ 月 5 日（水）午後 7 時から盛岡市の県体育協会会館会議室で開催されました。会議には、夜間にもかかわらず久世一彦(久慈市山協)、大坊孝男(玉山)、佐、小笠原正雄(石鳥谷)、村上良則(都南)、村上伸男（翌檜）、千葉健吉(山想会)の各評議員の出席を頂き、平成 27 年度（公社）岩手県体育協会体育功労者の推薦と日本体育協会公認指導員功労表彰について諮問、答申を頂きました。また、事務局をはじめ各部長から平成 27 年度事業の上半期の進捗状況の説明と第 71 回国民体育大会山岳競技の準備商況について説明を行ったほか、加盟団体交流会、東北総合体育大会山岳競技結果、岩手山八合目避難小屋管理状況について現状報告を行いました。

「日本の名峰登山2015」
大菩薩嶺・雲取山　登山報告

平成 27 年 6 月 4 日（木）霧雨

滝沢市役所には岩手県山岳協会普及部長の植田瑞穂さんが、盛岡駅前のマリオスでは、岩手県山岳協会会長の高橋時夫さんの見送りを受け盛岡を出発した。北上・江釣子ＩＣで参加者全員が揃った所で開会行事を実施。今回の山行とスッタフを紹介し一路山梨へ。前沢ＳＡでトイレ休憩後消灯となる。

平成 27 年 6 月 5 日（金）くもり一時晴れ

6：23「大菩薩の湯」に到着。待っていたタクシー７台に乗り換え登山口である「福ちゃん荘」に向け出発する。天気は回復し日がさしてくる。福ちゃん荘に到着。トイレを済ませ準備運動をして１班・２班に分かれて 7：07 出発。足元は砂利道で道幅もあり車が十分に通れそうな山道。勝緑荘の前（唐松尾根分岐）で山道に入る。

7：50 大菩薩峠にある介山荘到着。トイレの横に軽トラックがあり介山荘の荷揚げはこの軽トラで行っているものと思われる。大菩薩峠で小休止後、小屋の横の「大菩薩峠」の標識の所で記念撮影し大菩薩嶺に向け出発する。

大菩薩峠からは、富士山や南アルプスの山々が遠望できた。親不知ノ頭通過し賽ノ河原に向け下る。賽ノ河原の小屋を通過すると登りになる。大菩薩峠からは、富士山や南アルプスの山々が遠望できた。親不知ノ頭通過しさいの河原に向け下る。さいの河原の小屋を通過すると登りになる。富士山、南アルプスの山々が所々で姿を変え眼の中に飛び込んでくる。

神部岩通過、標高 2,000m地点を通過、なおも登りが続く。8：48　雷岩着。小休止。大菩薩嶺までの山道で富士山が見える最後の場所とのこと。

9：09 大菩薩嶺（2,057m）山頂到着。樹林帯の中の山頂のため展望はきかず。山頂は広め。三角点がある。全員が山頂到着後に記念撮影。

大菩薩嶺山頂にて

大菩薩嶺山頂を丸川峠へ向け出発。10：30　丸川峠（まるかわ荘）着。小休止。丸川峠で再び富士山が見える。

10：48　丸川峠発。山小屋周辺の道は歩きやすく傾斜もあまりなかったが、少し歩くと傾斜がきつくなり険しい下山道となる。11：55　森林出合着。12：25 裂石（大菩薩嶺登山口のバス停 1,046m）着。

13：10 マンズワイン勝沼ワイナリー着。マンズワインはキッコーマンの子会社で会社説明や製造工程等の説明を受けその後ワイン等の試飲を行う。14：47 マンズワインを出発。

14：58 ぶどうの丘の宿泊施設に到着。宿泊場所に到着と同時に小雨が降ってくる。天気予報通り夕方からの雨となる。宿泊手続きのうちに雨は強くなってくる。山で降られなくてラッキーであった。山での汗を温泉で流しゆったり気分になった。夕食は日本料理のフルコースということで、岩手県山岳協会前会長の工藤洋二さんの音頭で乾杯。外では雨が降り続いていたが、テレビの天気予報の「雨は明朝まで」を信じ床についた。

平成27年6月6日（土）くもり

天気はくもりの模様。天気予報どおりにこのまま降らなければ良いがと思う。6：02 宿舎（ぶどうの丘）出発。途中「道の駅 たばやま」で登山準備をする。日差しが強く暖かくなる。8：15 鴨沢登山口を過ぎ旅館（湖望閣）前の道路脇の広い場所でバスを下車し全員で記念撮影。すごく天気が良くなり、日差しが強くまぶしい。少し登ると坂の途中から左斜面への道があり、そこが登山道ということであった。途中「至雲取・七ツ石方面」の矢印の看板があり少し登ると杉並木の登山道となった。

8：55 林道出合着　小休止。　緩やかな樹林帯の中の道。9：12 登山道出合（山道に入ったらあれほどあった日差しも影をさし曇り空となる。山に入ってからの杉並木は間伐材が切り倒されたままになって苔がついているものもあり、この辺までは搬出の手が回らなかったのかと思われた。

10：35 水場（冷たくおいしい水を沢山頂いた。

11：05 堂所通過　くもり。七ツ石小屋手前あたりからガスが出てくる。朝の晴天はどこへやら、降らなければよいがと思う。

12：12 七ツ石小屋到着トイレ、水分補給、小屋の奥の広場のベンチ用の広い板の間で昼食を頂く。美味しい水は無料であった。12：36 七ツ石小屋出発。石尾根縦走路の分岐通過。七ツ石までは登りになる。途中七ツ石由来の岩があり。また神社もあった。

12：57 七ツ石山頂到着。三角点があり山頂から縦走路を眺めることができた。13：33 ヨモギノ頭（1,813m）着小休止。13：45 ヨモギノ頭出発。振り返ると七ツ石山頂及び縦走路が見える。すぐ先に奥多摩小屋が見えた。

13：52 奥多摩小屋着「奥多摩小屋は自炊小屋です」の看板有り。奥多摩小屋をすぎたら登り坂になりジグザクの道が続く。登り切れば小雲取山であり、途中振り返ればヘリポートやテント場のテントが見え奥の方に七ツ石山と縦走路も見えていた。

14：00 小雲取山通過。山頂の標識は縦走路の右上にあると思われる。小雲取山からの山道は少しの間は平になったが、また上り坂になる。14：25 雲取小屋う回路分岐（きつい坂が終わる）。ガスのため下側、上側視界なし。14：40 雲取山避難小屋（分岐）到着。ガスのため視界が利かず。14：45 雲取山山頂到着。

雲取山山頂にて

晴れていれば東京の街並みや富士山が見えるはずであったが、ガスのため視界が利かず残念であった。それでも雨にも降られず山頂を踏めたことはラッキーといえた。昨年度も山行予定であったが、前日から降り続いた雨が、当日もやまず大雨洪水注意報となったためやむなく中止となり、登らずに帰ってきた経緯があり、昨年から引き続き参加された方は喜びもひとしおであったことと思う。雲取山山頂には立派な三角点があった。山頂では記念写真をとった。（雲取山荘には 15：30 到着）坂の横で笹の花を沢山見る。登りの途中で日本ジカ４頭くらい林の中を走っていた。ガスが少しはれ雲取山避難小屋が見える。

下山路は今までの山道と違い少し荒れている感じを受けた。湿気もあり濡れているので気を付けて下山する。16：54 富田仙人レリーフの標識。富田仙人のレリーフを見に行く。17：08 雲取山荘手前の神社通過。17：10 雲取山荘到着。食後は布団を敷き寝る準備をしてからささやかな宴会となった。夜はさほど寒くはなく布団 1 枚の人もいた。

平成27年6月7日（日）晴れ

4：30 起床　朝食は弁当で前日に配布済。4：32 ご来光を拝み写真撮影・出発準備、思ってもみなかったご来光を見ることができた。

4：44 雲取山荘出発(1 班)。4：47 2 班出発。雲取山荘の下側にテント場有り 5：10 大ダワ　道は歩きやすい。5：55 芋ノ木ドッケ着。6：00 芋ノ木ドッケ発。6：05 白岩山（1,921m）着　小休止　三角点有り。6：35 白岩小屋通過。6：55 前白岩山。

7：07 前白岩山の肩通過。7：48 お清平着、7：54 お清

平発。8：10 霧藻ヶ峰休憩舎着。霧藻ケ峰（1,523m）。霧藻ケ峰休憩舎には、管理人がおり、三峰神社の駐車場や両神山が見えると教えてくれた。

8：20 霧藻ケ峰休憩舎発。秩父宮雍仁親王殿下御尊影レリーフ・トイレ・三角点通過。8：27 地蔵峠、テーブル・ベンチ有り、地蔵峠を下ると杉林に入る。炭焼平（炭窯跡）・欅平・二股檜通過。今日は「平成 27 年度奥秩父山系山開式」があるようで、山開式は霧藻ケ峰で実施の模様。途中埼玉岳連の一行と思われる方々とすれ違う。9：13　奥宮通過。9：23 参道口通過。

9：30　登山口（奥宮参道入口）。登山者全員無事下山 9：40～10：28 三峰神社参詣。三峰神社は一見の価値があった。

10：55 道の駅大滝温泉着。游湯館にて入浴登山の疲れを温泉のお湯で流しすっきりしてバスに乗り込む。北上江釣子 IC・花巻南 IC・盛岡南 IC・マリオス経由で 21：30 滝沢市役所着。参加者全員無事岩手に到着。お疲れ様でした。天気にも恵まれ参加者員満足のいく山行であった。

ｽﾀｯﾌ　1 班 L 田老雄一(CL 兼)・SL 中村桂悦、２班 L 太野千枝子・SL 山口吉男、記録盛合敏男

伊 藤 ふたば
第29回リードジャパンカップ和歌山大会で女子の部 4位入賞

6 月 6 日（土）、7 日（日）の二日間、リードジャパンカップが、和歌山国体リハーサル大会を兼ねて和歌山県みなべ町で開催。大会では、伊藤ふたば選手（北松園中）が４位入賞の大健闘。

第 69 回岩手県民体育大会
山岳競技兼国体選手選考会

69 回を数える県民体育大会山岳競技兼第 8 回国体選手選考会が、6 月 27 日（土）と 28 日（日）県営登はん競技場で開催されました。 大会には、一般の部で競われる県民体には男子 13 チーム、女子 3 チームが出場。昨

年度から出場選手登録をしないと出場資格を得られないことから選手登録をしていない場合や県山岳協会加盟団体に所属していない選手は、出場資格がないことがまだ徹底していないこともあり、成年は 16 チームに留まった。高校生を中心とする国体選手選考会については、男子 49 チーム、女子 5 チームがエントリーし二日間の熱戦が繰り広げられた。成績は次の通り。

ボルダリング競技

順位	1位	2位	3位
成年男子	北上山岳会A	北上山岳会B	北上山岳会C
成年女子	大迫山岳会A	大迫山岳会B	盛一OG
少年男子	盛岡南高校A	岩手高校A	黒沢尻工業A
少年女子	盛岡南高校	盛岡第一高校C	盛岡第一高校B

リード競技

順位	1位	2位	3位
成年男子	北上山岳会C	北上山岳会A	北上山岳会B
成年女子	大迫山岳会A	大迫山岳会B	盛一OG
少年男子	盛岡南高校A	岩手高校A	黒沢尻工業A
少年女子	盛岡第一高校C	盛岡南高校	盛岡第一高校A

第 1回東北高等学校登山大会
「岩手山焼走りコース」で開催

今年から開催が決まった東北高等学校登山大会の第 1 回大会が、八幡平市の焼走りキャンプ場と岩手山を会場に 6 月 19 日（金）から 21 日（日）の 3 日間開催された。この大会は、インターハイを前に東北チャンピオンを決定するとともに全国大会の前哨戦と位置づけ東北六県から男子 11 チーム、女子 10 チームか参加。初日は、焼走りキャンプ場で開会式、岩澤健二高体連登山部長の挨拶、高橋県山岳協会長の祝辞、遠藤健悦八幡平市教育長の歓迎の言葉、樋口寿昭審判長(青森)の注意事項等のあと競技に入った。

第１日目は、設営、装備、炊事審査。二日目は、岩手山頂往復で、歩行、チームワーク、自然観察等の競技が

行われ、審査終了後の 18 時からは、キャンプファイヤーを囲んで交歓会が開催され交流を深めた。３日目の 21 日は、閉会式を行い解散。

団体男子　優勝　八戸工大一高校、２位盛岡工業高校
　　３位　岩手高校
団体女子　優勝　仙台三桜高校、２位　盛岡第一高校
　　３位　盛岡南高校

県山協加盟団体交流会開催

加盟団体の交流と意見交換、活動報告等を目的に毎年、開催している県山協加盟団体交流会が、今年もトレラン大会を翌日に控えた 7 月 18 日（土）に滝沢市鞍掛山自然情報センターで開催された。今年の参加団体は、岩手アルペンローズ山岳会 2 人、巌鷲山岳会 4 人、玉山会 1 人、滝沢市山岳協会 5 人、ＲＣＣ1 人、都南山岳会 1 人、矢巾町山岳協会 5 人、矢巾山好会 1 人、翌檜山岳会 2 人、福岡山好会 1 人の 10 団体、23 人か参加。交流会では、参加者の自己紹介と各会の活動状況が報告され、それぞれ持ち寄った地酒を飲みながら、天気まつりを兼ね大いに盛り上がりました。次回は、更に多くの会の参加をお願いします。

2015 鞍掛山トレイルランニング大会開催

滝沢市の鞍掛山に会場を移して 6 回目となる協会、恒例の”山の日制定記念”2015 鞍掛山トレイルランニング大会は、7 月 19 日（日）112 名の選手の参加のもと、加盟団体競技役員 36 名の協力を頂き「たきざわ自然情報センター～相の沢牧野～馬返し登山口～鞍掛山～自然情報センター」間で開催。

当日は、心配された雨も上がり成年男女、少年男子 16.8km、少年女子 12.2km、高低差はいずれも 415m で競技が行われた。開会式では、来賓として柳村典秀滝沢市長の出席を頂き、激励のことばを頂く。高橋協会会長が、この大会は、登山の基本である脚力と体力の強化を目的に開催としており、山野を駆け巡り、登山の基本である体力、脚力を鍛え、安全で楽しい登山に心がけて欲しい。と挨拶。大会は、9 時一斉スタートで、県外からの選手も参加し、健脚を競いました。16.5km の最高タイムは、八幡平市の高橋涼選手の 1 時間 30 分 16 秒、12.8 km では少年女子の雫石高校の高橋杏選手の 1 時間 26 分 27 秒でした。

今回は、会場の許認可等に時間を要し、募集期間が短かったことや、コース表示の不徹底、競技役員の当日欠席等今後に課題を残す事項もありましたが、市、加盟団体の協力と選手の力走でけがもなく、盛会裏に終えることができました。今大会の反省をもとに、次回大会に備えたいと思います。

この大会開催にあたり、滝沢市、滝沢市山岳協会には、運営、コース整備等に、石井スポーツからは、賞品等ご協力を頂きました。ありがとうございます。

鞍掛トレラン結果

種　目	出場	1位	2位	3位
一般男子 (49 歳以下)	43	高橋 涼 (八幡平市)	佐々木淳 (盛岡市)	兼平昭浩 (盛岡市)
一般男子 (50 歳以上)	14	橋本 久 (盛岡市)	斉田勝博 (盛岡市)	吉田 正 (盛岡市)
一般女子 (50 歳以上)	4	斉田美佐子 (盛岡市)	伊藤礼子 (花巻市)	奥きぬ子 (盛岡市)
一般女子 (49 歳以下)	4	渡辺信恵 (盛岡市)	斉藤美代子 (盛岡市)	藤原くに子 (花巻市)
高校生男子 (16.5km)	33	藤本雄大 (雫石高)	女供雄太 (盛農高)	高橋宇夢 (黒工高)
高校生男子 (12.8km)	9	漆原優輝 (盛農高)	小山田健樹 (盛農高)	小山田希 (盛農高)
高校生女子 (12.8km)	5	高橋　杏 (雫石高)	工藤亜胡 (盛農高)	村山夏恋 (盛農高)

◎鞍掛トレラン協力団体

翌檜山岳会、岩手アルペンローズ山岳会、巌鷲山岳会、高体連、都南山岳会、矢巾山好会、滝沢市山岳協会、矢巾町山岳協会、矢巾山好会、盛岡ＲＣＣ、悠々山の会、福岡山好会、滝沢市役所

第 42 回東北総体県別総合６連覇

三種別「紀の国和歌山国体」出場権獲得

今年で 42 回を迎えた東北総合体育大会山岳競技は、岩手県が開催幹事県として 7 月 24 日（金）から 26 日（日）までの３日間、盛岡市の県営総合運動公園登攀会場で開催。

4 種別で競技行われ岩手県チームは、男子が成年、少年とも 1 位、女子は、成年が 4 位、少年女子が 2 位。成年女子は、和歌山国体出場権を逃す残念な結果となりました。今年は、少年男子の充実、中学３年生コンビの少

年女子が 2 位に入り国体出場権を得、来年への展望が少しずつ開けてきました。県別総合では６連覇となるも優勝は、福島県との同点優勝。

成年男子は、畠山晃(北上)を監督に、藤原祐樹（岩手）、昆　修太(北上)のコンビで出場。初日のボルダリングは確実に課題を克服し 1 位につける。リードでも完登こそ逃したが 1 位。成年女子は、長谷川健太（岩手クライミング）を監督に、昨年までの東北の輪覇者金沢(旧姓畠山)千怜（岩手クライミング）、立花里実（岩手クライミング）が抜けたあと国体出場権をかけて坂本康子（岩手クライミング）、昨年まで少年女子の山瀬奈々子が挑戦。しかし、地元の利を生かせず、下位に甘んじる結果となり、成年女子の国体出場権を逃す結果となった。

種別	種目	青森	**岩手**	宮城	秋田	山形	**福島**
成年男子	L	5	**1**	2	6	4	**3**
	B	5	**1**	6	3	2	**4**
	総合	6	**1**	4	5	2	**3**
成年女子	L	－	**5**	1	3	4	**2**
	B	－	**4**	1	3	5	**2**
	総合	－	**4**	1	3	4	**2**
少年男子	L	6	**1**	3	4	5	**2**
	B	6	**1**	4	3	5	**2**
	総合	6	**1**	3	3	5	**2**
少年女子	L	－	**2**	3	5	4	**1**
	B	－	**2**	3	5	4	**1**
	総合	－	**2**	3	5	4	**1**
総合		**6**	**1**	**3**	**4**	**5**	**1**

注　L：リード、B：ボルダリング

少年男子は、新田亮一（岩手高校）監督のもと山内響君（盛岡南１年）と中島大智（花巻中３年）が出場。実力派の山内は安定した素晴らしいパフォーマンスを見せ、リード、ボルダリングともトップで通過。今年初めての大会出場となる中島も着実に力を付け、他を寄せ付けない力強い登りでトップ。少年東北チャンピオンに。

少年女子は、伊藤圭監督のもと、中学三年生なコンビがデビュー。田中里旺（松園中３年）、吉田翠羽（北陵中３年）は、大会初出場とは思えないパフォーマンスでボルダリング、リードとも 2 位を確保。国体出場権を得る。

今大会は、成年男子が来年の国体に照準を合わせて力を付けて来た。成年女子は、原点に立ち返っての強化か必要となった。少年組は、ジュニア時代からの強

化組の山内、中島組は、国体入賞を目指す。少年女子は、来年の国体に合わせ着実に力を付けてきている。これからジュニアオリンピック等多くの大会で実践的経験を積んで上位を目指してほしい。３チームは、10 月の和歌山国体での入賞に向けて、技術力とともに精神力等更にパワーアップに向けて合宿に励んでいます。応援をよろしくお願いします。

紀の国わかやま国体選手監督決定

今年 10 月 2 日（金）から 5 日（月）にかけて、和歌山県みなべ町で開催される「2015 紀の国わかやま国体」の選手監督が決まりました。

種　別	監　督	選　手	選　手
成年男子	畠山　晃 (羽田小)	藤原祐樹 (東京都)	昆　修太 (スポー振)
少年男子	新田亮一 (岩手高校)	山内　響 (盛岡南高校)	中島大智 (花巻中３年)
少年女子	伊藤　圭 (下ノ橋中)	田中里旺 (松園中３年)	吉田翠羽 (北陵中３年)

第１８回 JOC ジュニアオリンピックカップ大会 スポーツクライミング競技結果

ジュニア世代が、着実に伸びている。

今年で 18 回目を迎えた JOC ジュニアオリンピックカップ大会スポーツクライミング競技（リード競技)が、8 月 14 日（金）から 16 日（日）の三日間、富山県南砺市桜ケ池クライミングセンターで開催され、本県から 7 名の選手が出場。

男子　ユースＡ（16～17 歳）では、**山内響**（盛岡南）が４位入賞、**佐々木建彰**（岩手高校）が予選 15 位と健闘。ユースＢ（14～15 歳）では、**中島大智**（花巻中）が６位入賞，**石嶋魁人**（北松園中）が予選 16 位。

女子　ス女子Ｂ（14～15 歳）では、**田中里旺**（北松園中）が決勝 10 位、ユースＣ（12～13 歳）では、**伊藤**

ふたば（北松園中）が予選 3 位で決勝に進んだが、決勝では 9 位に甘んじる。

吉田翠羽（北陵中）は、予選 24 位の悔しい結果となった。

来年の岩手国体、そしてその後の種目採用が注目される東京オリンピックや次代の国体選手として活躍が期待されるジュニア世代が、着実に伸びてきており、今後の成長が楽しみだ。

山の日制定キャンペーン

来年 8 月 11 日から施行される国民の祝日「山の日」の意義を多くの県民とともに考え、山の社会に与える恵みに感謝し、自然愛護の精神の涵養に努めようと東北六県岳連（協会）で日山協の山の日制定キャンペーンの呼応し、キャンペーン用ノボリを各県 15 本づつ共同作成しました。東北総体開会式と表彰式会場の運動公園隣の県身障者体育館にも掲示しＰＲに努めました。

来年は、施行される年でもあり、日山協が中心なとなりさまざまなキャンベーンの企画が予定されています。単なる祝日としてではなく、その意義を皆で考えましょう。

日山協山岳保険に入ろう

日山協の山岳保険は、年度中途でも加入できます。多くの山岳保険がありますが、日山協の山岳保険は、登山ばかりではなく、日常生活でのケガも対象になります。また、ボルダリングやリード壁等でのロープを使用したクライミングもピクニックコースで比較的負担の少ない掛金での加入ができる等の利点もあります。また、万一の賠償責任保険も加味されています。更に、加入者数によって山岳協会への還付金等もあり、万一に備えての加入をお奨めします。**年の中途での加入もできます。**

詳しい内容を知りたい方及び加入希望の方は、県山岳協会事務局へお問い合わせ下さい。

第 4 回理事会報告

平成 27 年 6 月 10 日（水）第 4 回常任理事会が会長等常任理事 26 名の出席のもと県体協会議室で開催され、次の内容について協議しました。

事務局関係

・平成 27･28 年度岩手県山岳協会常任理事名簿について

事業部関係

・県民体育大会及び国体選手選考会実施細目について

指導部関係

・ボルダリング無料体験会及び認定会について
　4 月 29 日（水）体験参加　451 名　認定会　113 名

・日山協富士山研修について（菊池真一、松山貴章、佐藤誠参加）

・県民体育大会審判、役員について

登山普及部関係

・岩手県山岳協会日本の名峰登山 2015

・岩手山八合目避難小屋関係

・その他薪割等

選手強化部関係

・達増知事国体選手激励強化合宿視察について
5 月 21 日（木）県総合運等公園　強化選手監督コーチ、会長、理事長等対応

国体推進部関係

・希望郷いわて国体役員の委嘱等について
（5 月 11 日付けで依頼）

・和歌山国体リハーサル大会への視察員派遣（6/6-7）

高体連関係

・第 45 回岩手県高等学校総合体育大会登山競技について
6 月 5 日（金）～7 日（日）焼石岳つぶ沼コース

・第 1 回東北高等学校登山大会の開催について
6 月 19 日（金）～21 日（日）岩手山焼走りコース

第 5 回理事会報告

平成 27 年 7 月 29 日（水）第 5 回常任理事会が会長等常任理事 22 名の出席のもと県体協会議室で開催され、次の内容について協議しました。

事務局関係

・平成 27 年度岩手県体育協会体育功労者候補者の推薦について

・平成 27 年度日本体育協会公認指導員功労表彰候補者の推薦について

事業部

・第 69 回県民体育大会及び第８回国体選手選考会報告について

・加盟団体交流会報告

・2015 鞍掛山トレイルランニング大会報告

指導部関係

・沢登研修会の開催について１名　　認定会　113 名

・平成 27 年度遭難対策委員会研修会兼総会報告

登山普及部関係

・岩手県山岳協会日本の名峰登山 2015

・平成２７年度岩手山ボッカ大将の実施について

・岩手山八合目避難小屋管理関係について

・ジュニア登山教室の開催について

選手強化部関係

・和歌山国体出場選手監督の決定について

国体推進部関係

・希望郷いわて国体役員の委嘱等について（5 月 11 日付けで依頼）

・和歌山国体リハーサル大会への視察員派遣（6.6～7）

高体連関係

・第 1 回東北高等学校登山大会の開催について
6 月 19 日（金）～21 日（日）岩手山焼走りコース

経過報告

5/16(土)	日山協第 1 回理事会
5/16(土)-17(日)	東北六県連盟(協会)協議会
5/21(水)	平成 27 年度岩手県体育協会評議委員会
5/21(水)	火山防災対策に係る関係市町等連絡会議
5/22(金)-24(日)	高校生登山基礎講習会(前期)
5/23(土)-24(日)	残雪期講習会・研修会
5/27(水)	第 42 回東北総体盛岡市実行委員会設立総会
5/27(水)	第 42 回東北総体担当者会議
5/27(水)	平成 27 年度競技団体事務局長会議
5/31(日)	日山協定期総会
6/1(月)	希望郷いわて国体盛岡市実行委員会第 3 回総会
6/2(火)	いわて国体第 3 回競技運営担当者会議
6/4(木)-7(日)	日本の名峰 2015
6/6(土)-7(日)	わかやま国体リハーサル大会
6/6(土)-8(月)	第 56 回岩手県高総体登山競技)
6/8(月)	希望郷いわて国体実行委員会第 3 回総会
6/10(水)	第 4 回常任理事会
6/13(土)-14(日)	日山協指導委員会総会
6/13(土)-14(日)	ボッカ大将
6/19(金)-21(日)	東北高等学校登山大会
6/20(土)-21(日)	東北総体山岳競技審判会議
6/27(土)-28(日)	第 67 回県民体・第 8 回国体選手選考会
7/1(水)	岩手山山開き
7/8(水)	第 4 回部長会
7/11・12・14	親子クライミング・ボルダリング教室
7/18(土)	加盟団体交流会
7/19(日)	鞍掛山トレイルランニング大会
7/24(金)-26(日)	第 42 回東北総体山岳競技
7/29(水)	第 5 回常任理事会・三役会議
7/31(土)-8/1(日)	ジュニア登山教室 in 岩手山 2015
8/5(水)	第 2 回評議員会
8/7(金)-11(火)	全国高等学校登山大会
8/9(日)	沢登講習・研修会
8/13(木)-16(日)	ジュニアオリンピック

今後の予定

8/30(日)	岩登り講習・研修会
9/16(水)	第 6 回常任理事会
9/25(金)-27(日)	登山基礎講習会（後期）
10/2(金)-5(月)	第 70 回国民体育大会
10/8(木)-10(土)	第 51 回岩手県高等学校新人大会
10/9(金)-11(日)	第 54 回全日本登山大会

10/18(日)	岩手山八合目避難小屋常駐終了
10/24(土)-25(日)	岩手山八合目避難小屋冬小屋切替
10/25(日)	第 13 回ボルダリング大会
10/28(水)	第 6 回部長会

2016 希望郷いわて国体山岳競技情報⑩

達増知事山岳競技国体強化選手を激励

平成 27 年 5 月 11 日（土）午後 7 時、達増知事が県営運動公園登攀会場を訪れ、強化練習中の国体強化選手の激励をしました。畠山強化部長が山岳競技の施設規模や競技規則等について説明し、強化選手が実際、登攀しました。

強化選手を代表して少年男子の山内響君が、「**立派な施設を作って頂き感謝します。この施設を有効に活用して国体では県民に感動を与えることができるよう頑張ります。**」と決意を披露。知事から、「皆さんの活躍が大震災間もない岩手に勇気と感動を与えてくれると思います。健闘を期待しています。」と激励。

県体・東北総体で希望郷いわて国体に向け実践的経験を積む。

来年の希望郷いわて国体の準備が進む中、協会では、今年 6 月開催の県民体育大会、7 月開催の東北総合体育大会山岳競技の運営をプレリハーサル大会と位置づけ、県内会員の皆さんに運営役員として協力して頂きました。お蔭で大きな収穫を上げることが出来ました。

7 年前の大分国体以降の国体改革でスポーツクライミングのリード競技とボルダリング競技となったことにより、従来の山岳競技になじみの深かった関係もあり、まずは、競技の内容を知ってもらうことが先決と、２種目の競技ルールや施設、審判の方法、運営の流れを肌で知ってもらおうと忙しい中、それぞれの部署で体験をして頂きました。

県民体、東北総体とも国体と基本的には同じ流れであり役割分担も同様ですが、規模か大きいこと。リード競技部門、ボルダリング競技部門と審判も、運営も専任的な役割となります。また、総務部門、宿泊部門についても競技に直接係わりはなくても、選手、監督が気持ちよく競技に専念できる雰囲気づくりには、競技全般を理解していないとうまくいきません。

競技への共通理解を目標に今年は、運営研修についてそれぞれの部署ごとのコミュニケーションの徹底や運営全般への理解を深めて頂くとともに、タイムスケジュール等も含めたマニュアル作りに入ります。来年 6 月に予定しているリード競技のジャパンカップ、同時に開催予定しているボルダリングのリハーサル大会を通じてスムースな国体運営となるよう協会上げて取り組んで行きますので引き続きご協力をお願いします。